

群馬医療福祉大学と前橋工科大学における大学教育研究連携について

群馬医療福祉大学と前橋工科大学の連携を重視し、国民の住みやすい環境づくりや医療・福祉制度の情報共有する機会を設け、お互いの理解を深めることを目的とするものとし、その活動を通じて臨床現場に携わる医療従事者・福祉介護従事者からの意見及び要望を受け連携協力のもと、より使いやすい移動や移乗の福祉用具の共同研究・開発を行い、社会へ貢献することを目的としております。

目的達成のために、次の活動を行います。

1. 大学共同研究連携の協定に伴う検討事項の決議と取りまとめ
2. 調査・研究・意見交換会の実施
3. 研究データの共有と機器開発への協力
4. 官公庁・企業・研究機関との意見交換会の実施
5. その他目的を達成するための活動

**研究連携で
協定書調印**

前橋工科大と
群馬医療福祉大

前橋工科大（辻幸和学長）と群馬医療福祉大（鈴木利定学長）は前橋市役所で「大学教育研究連携に関する協定書」の調印式を行った。

前橋工科大の辻学長が「提携で、科学技術の振興と地域産業の発展に大きな成果が期待できる」とあいさつ。群馬医療福祉大の鈴木

学長は「われわれが持っている福祉医療の知識で、新しい技術、学術を養っていきたい」と抱負を述べた。

今後、前橋工科大の工学部システム生体工学科と、群馬医療福祉大のリハビリテーション学部の相互研究を柱に、施設の共同利用などを進める予定。産・学・官・民の連携事業として、医療機器の開発支援も行う方針。



平成24年11月2日

協定書を手に笑顔で握手する辻学長（右）と鈴木学長

